

【草花の部屋】

マツヨイグサ（アカバナ科マツヨイグサ属 *Oenothera stricta*）

和名：マツヨイグサ（待宵草） **別名**：月見草 **英名**：evening primrose

フトモモ目 一年草 **原産地**：南米

花言葉：ほのかな恋、移り気 **花の色**：黄



← 写真-1 マツヨイグサ

撮影日：2016年05月26日

撮影場所：ニース(フランス)にて

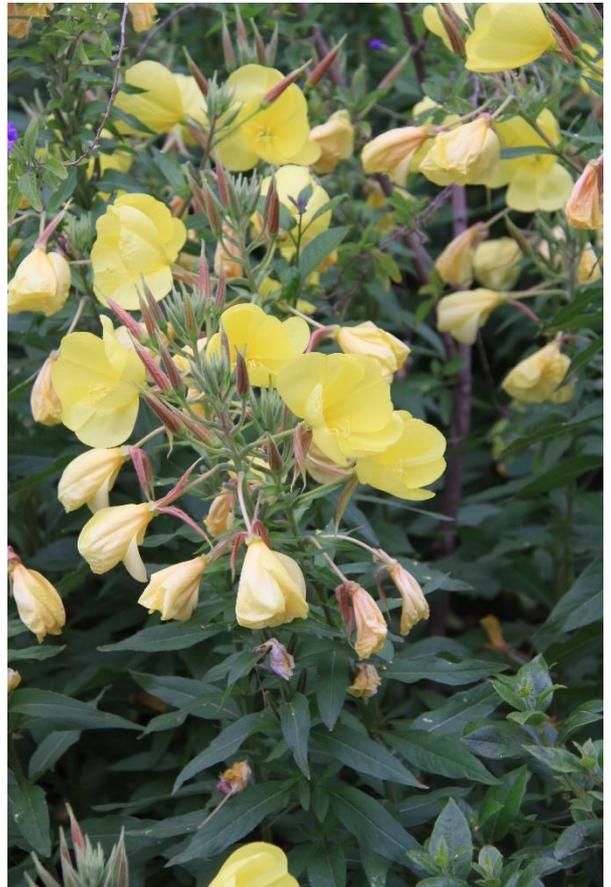
撮影者：M さん

↘ 写真-2 マツヨイグサ

撮影日：2016年05月26日

撮影場所：ニース(フランス)にて

撮影者：M さん



↓ 写真-3 マツヨイグサの花

撮影日：2016年05月26日

撮影場所：ニース
(フランス)にて

撮影者：M さん



ニースの朝市からホテルに戻る途中の、プロムナード・デ・パイヨンに植えられていました。日本でも公園や土手などでよく見かける花です。

日本へは江戸時代の末期に渡来した帰化植物で、各地で野生化しています。葉は細い披針形で、互い違いに生え（互生）、花卉は4枚で花径3～5センチくらいの黄色い花を咲かせる一日花です。

花は萎むと黄赤色に変わるのが特徴で、どの種も雌蕊の先端が4つに割れる特徴があります。

マツヨイグサ属には黄色以外の白、紫、赤といった花を咲かせる種もありますが、標準和名では、黄花を咲かせる系統はマツヨイグサ（待宵草）、白花を咲かせる系統はツキミソウ（月見草）と呼び、赤花を咲かせる系統はユウゲショウ（夕化粧）などと呼んで区別しているそうです。が、一般にはあまり浸透していないのが現状で、黄花系統種もよくツキミソウと呼ばれているそうです。しかし黄花以外の系統がマツヨイグサの名で呼ばれることはまずないそうです。標準和名でいうツキミソウはメキシコ原産の白花を咲かせる *O. tetraptera* を指します。「宵待草」の呼び名は竹久夢二の作詞による流行歌の題名に誤記された名称が定着したものだそうです。